



青木氏 (中央) の説明を聞く見学者

青木茂建築工房 (青木茂主宰) は19日、高野胃腸科リフ

地域医療のあり方提案 病院で居ながら施工

アイニング工場の解体見学会を福岡市東区の現地で開いた。金融、不動産、大学、建築関係者ら約40人の参加者は、建築主の意向に応じて診療を続けながら施工する様子を熱心に見学し、リファイニングに理解を深めた。写真。施工は北洋建設が担当。2014年2月の完成、3月オープンを予定している。

旧耐震建築物で構造耐震指標 (Is値) が0.6以下だったため、耐震壁による補強で新耐震基準に適合させるほか、古くなった設備を改修し、ダイニング、食堂の新設など間取りも一新する。エレベーター部分の増築やエントランスの改修によるバリアフリー化も図る。増築に伴い確認申請を提出し、完成後は完了検査を受けるため、新築と同等の評価を得ることになる。

現場は、1、2階の解体工事を終え、耐震壁のコンクリート打設前の状態にある。青木氏は「リファイニングの考え方を一番理解できるタイミングで見学会を開催できた。病院の居ながら施工は初めての経験で、やりたいと思ってきたことが実現できた」と語

階の管理部門を2階の病棟部門に移し、3階の躯体工事から着手した。同工事終了後にエレベーターを増築し、3階に仮診察部門と管理部門を移し、1、2階の工事を進める。最後に1階に診察部門を戻し、2階を病棟、3階を管理部門とする。施工性やコスト、診察のしやすさなどを考慮し、引越しの回数や時期など最適解の工程を提案している。

高野胃腸科の高野壮史院長は「移転は土地を含めコストが大きくなり、現地建て替えでは診療ができない。その中で居ながら施工を提案してい

ただき、検査や手術など工事中も通常と変わらない診療を続けることができている」と手応えを語った。

施設の規模はRC・S造3階建て延べ998平方メートル、病床数は19床。

建設地は福岡市東区筥松2-24-11。